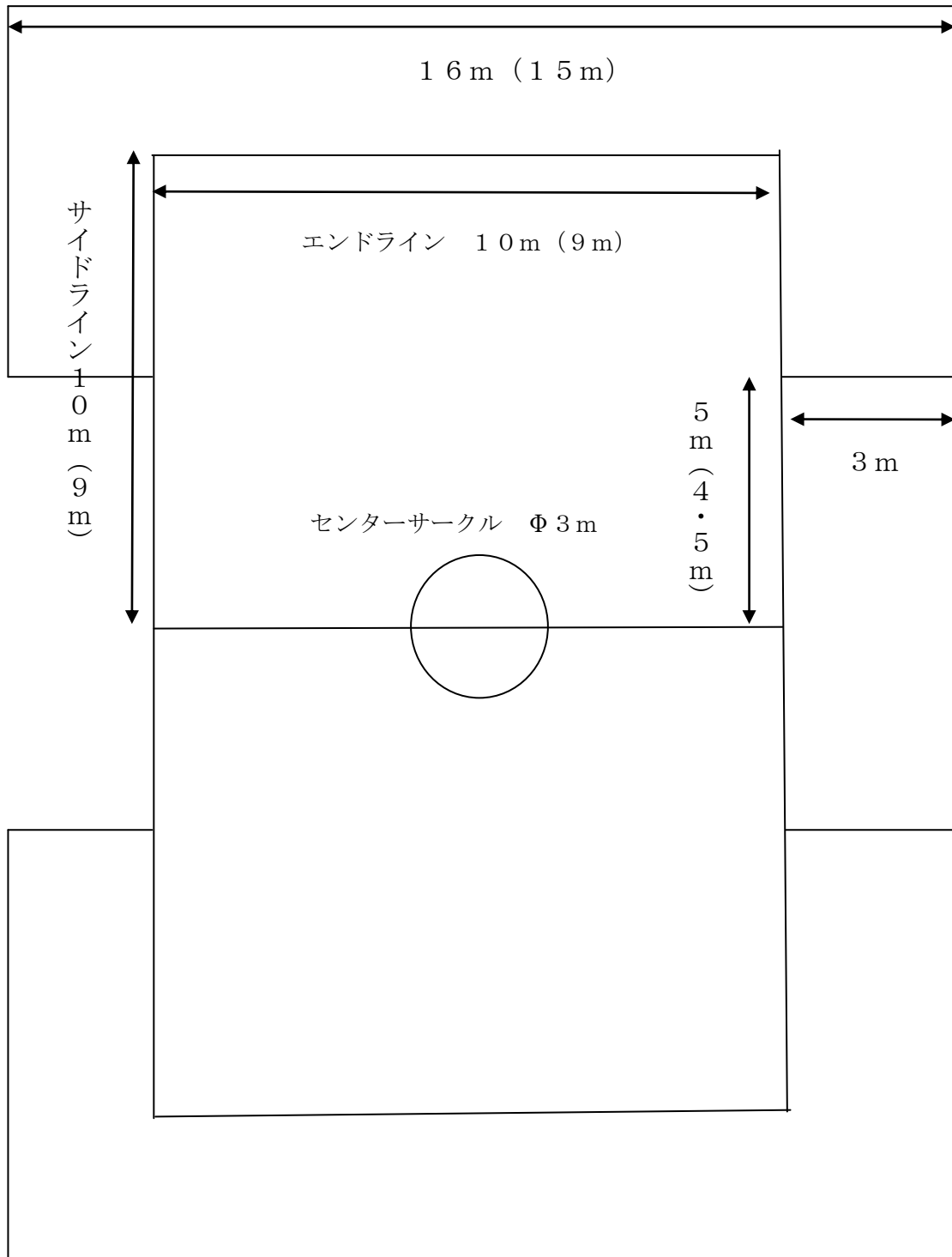


高崎市子育連ドッジボールルール 25年4月

- ① 1チームは12名以上とする。試合は12名対12名で行う。監督は1名とする。
- ② 低学年チーム(1年生から3年生)、高学年チーム(4年生から6年生)とする。
- ③ 試合時間は5分間とする。試合時間を終了時、内野の選手が同人数の場合は、2分間の延長戦とする。再延長についても同様とする。
- ④ コートの大きさは、裏面のドッジボールコート図のとおりとする。
(低学年は高学年より内野が縦・横ともに1m短い距離とする。)
- ⑤ 試合ボールは、ソフトドッジボール(2号球)を使用する。
- ⑥ 元外野は1名以上11名以下とする。元外野も相手内野の選手をアウトにしなければ、自分の内野にもどれない。相手選手をアウトにした後、ただちに内野に戻らないと内野へ戻る権利を失う。
- ⑦ 試合はジャンプボールで始まり、ジャンパーへの内野からの第一投の攻撃は禁止とする。なお、ジャンパーはジャンプボールをキャッチしてはいけない。
- ⑧ 試合中審判への抗議はできない。
- ⑨ 相手のノーバウンドの投球を取れなかったり、当てられた場合、アウトとなる。
- ⑩ 1回のノーバウンドの投球で2名当たった場合、最初の1名のみがアウトとなる。
- ⑪ 直接顔や頭に当たった場合は、セーフである。(ヘッドアタック)
- ⑫ 1度味方に当たったボールを、ノーバウンドでとった場合、当たった選手はセーフ。
- ⑬ 相手が投球したときにファールがあった場合、当たってもセーフ。
- ⑭ 立った状態で両手を広げ、腕より下の手の届く範囲内を通過した投球をアタック(ワンバウンドしてもアタックとみなす)とし、それ以外の投球をパスとする。
- ⑮ 味方の内野同士・外野同士のパスは禁止。違反した場合は相手ボールとする。
- ⑯ 試合中の内外野の移動は、コートの外を通る。
- ⑰ コートの外にボールが出た時、ボールデットとなる。
 - ・最後にさわったのが、内野選手の場合、相手内野ボールとなる。
 - ・最後にさわったのが、外野選手の場合、自分の外野ボールとなる。(ワンタッチ)
ただし、外野選手が投げたボールが直接ボールデットになった場合は、相手の内野ボールとなる。
- ⑱ ボールデットのあとプレーを再開する場合は、コートの中に入ってボールを頭の上に上げ、主審の合図(笛)によりゲームを再開する
- ⑲ ボールを投げる時は、ラインを踏んで投げるとファールで、相手の内野ボールとなる。ボールを取る時は、ラインを踏んではならない。相手の内野若しくは、外野のボールとなる。
- ⑳ パスは4回まで、5回目には攻撃をしなくてはならない。ボールを取ってから5秒以内に投げなくてはならない。違反した場合は、相手内野ボールとする。
- ㉑ 相手コートに転がっているボールをかき寄せるとファール。(空中はOK)。相手内野ボールとする。

ドッジボールコート図

() は低学年の場合



ファール一覧（審判が試合中に使う用語一覧）

ファイブパス

パスは、連続4回までとし、5回目のパスが成立した時点でファールとなり、ボールの支配権は相手の内野に移動する。

ダブルパス

味方の内野同士・外野同士のパスは禁止。違反した場合は相手内野ボールとする。

オーバーライン

ボールを保有したプレイヤーはラインを踏んだり、越えてはならない。この場合ファールとなりボールの支配権は、相手の内野または外野に移動する。

ホールディング

相手チームのエリア内に転がっているボールに触れてはならない。ただし、空中にあるボールはこの限りではない。また、空中にあるボールを相手エリア内でドリブルしてはならない。これらの場合ファールとなりボールの支配権は相手の内野または外野に移動する。

ヘッドアタック

ノーバウンドの投球で直接相手プレイヤーの顔面、または頭部に当ててはならない。この場合ファールとなりボールの支配権は相手の内野に移動し、その投球は無効とする。

タッチ・ザ・ボディー

試合中相手プレイヤーと体が接触するような行為をしてはならない。この場合ファールとなり、ボールの支配権は相手の内野または外野に移動する。ただしジャンプボール時に偶然体が触れた場合を除く。

ダブルタッチ

アウトになったプレイヤーがアウトコール後、外野への移動中に自エリア内で自ら再びボールに触れてはならない。この場合ファールとなりボールの支配権は相手の内野に移動する。

インターフェア

プレイヤーが内外野への移動中に、故意に相手の投球したボールに触れてはならない。この場合ファールとなり、ボールの支配権は相手の内野に移動する。ジャンプボール後の内野からの第1投目を、ジャンパーが妨害する行為にも、このファールを適用する。

キープ・フォー・ファイブ

プレイヤーはボールを捕球してから5秒以上保持してはならない。この場合ファールとなりボールの支配権は相手の内野に移動する。

フライングタッグ

ジャンプボール時のタッグは、ボールが頂点から落下し始めた時点で行う。

ボールが頂点から落下し始める前にタップした場合は、ファールとなりボールの支配権は相手の内野に移動する。

ダブルタップ

ジャンプボール時に2度以上ボールタップしてはならない。この場合ファールとなり、ボールの支配権は相手の内野に移動する。ただし、落下してきたボールが偶然触れた場合は除く。

ジャンパーアタック

ジャンパーがタップしたボールを捕球した内野プレイヤーは、相手チームのジャンパーを第1投目で攻撃してはならない。この場合ファールとなり、ボールの支配権は相手の内野に移動する。

ジャンパーキャッチ

ジャンパーは、自分がタップしたボールを他のプレイヤーが投球するまで触れてはならない。この場合ファールとなり、ボールの支配権は相手の内野に移動する。ただし、ジャンパーが唯一の内野プレイヤーである場合、自エリア内でのプレイはその限りではない。

フライングスロー

ボールデッド後試合を再開する場合、ボールの支配権を持つプレイヤーは主審のホイッスル前に投球してはならない。この場合ファールとなりボールの支配権は相手の内野に移動する。

アウトプレイ

インプレイ中、プレイヤーは自エリア以外でプレイしてはならない。この場合ファールとなり、ボールの支配権は相手の内野に移動する。

イリーガル・スロー

手・腕・足・頭等でボールを弾いてアタック、またはパスをしてはならない。この場合ファールとなり、ボールの支配権は相手の内野に移動する。ただし、外野のワンタッチと偶然ボールが体に当たった場合は除く。

イリーガル・キャッチ

手・腕・足・頭等でボールを弾いた後、そのボールを捕球してはならない。この場合ファールとなり、ボールの支配権は相手の内野に移動する。ただし、外野のワンタッチと偶然ボールが体に当たった場合は除く。